

関西大学 社会安全学部 緊急シンポジウム

2010年宮崎県口蹄疫災害を考える

～「経済災害」と社会の安全～

【趣旨】

今年4月以降、宮崎県東部を中心とする口蹄疫の爆発的感染により、畜産農家への被害が深刻さを増しています。周知の通り、感染拡大防止のため現地では多くの家畜が殺処分されています。まだ感染していない家畜にも予防的にワクチンを接種し、その後殺処分が進められています。その対象数は実に27万頭を超えました。地元の人々の肉体的・経済的・精神的負担は甚大であり、また畜産に関連する広範な産業にもその影響は広がるなど、まさに災害と呼ぶべき深刻な状況に陥っております。

このシンポジウムでは、この口蹄疫被害を「経済災害」という新しいジャンルの災害であるにとらえ、報道では十分に伝わってこない深刻な実態を理解すると同時に、その背景にある社会や制度の問題について、現地の生の声を聞きたいと思えます。また宮崎県からの食肉の大半は関西に出荷されています。そのような観点からも、被災地の中長期的な復興に向け、私たちがができることについて考えるきっかけとなれば幸いです。

日時 6月19日(土) 13:00～15:00 参加無料・定員500名

※申込不要(但し、会場の都合により、立ち見となる場合がありますので予めご了承ください。)

場所 関西大学高槻ミュージズキャンパス 西館5階ミュージズホール

(大阪府高槻市白梅町7-1、JR高槻駅から北東へ徒歩約10分)

<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/access.html>

プログラム (予定)

司会：永松伸吾

13:00 開会挨拶

関西大学社会安全学部長 河田恵昭

13:05 口蹄疫とは何か：公衆衛生の観点から

関西大学社会安全学部 教授 高鳥毛敏雄

13:10 「経済災害」としての口蹄疫

関西大学社会安全学部 准教授 永松伸吾

13:15 宮崎県口蹄疫災害の現場から

宮崎県会議員 武井俊輔 氏

14:30 質疑応答ならびにディスカッション

宮崎県会議員 武井俊輔 氏

宮崎県大阪事務所 流通担当課長 柄本康 氏

15:00 閉会

■問い合わせ：関西大学 高槻ミュージズオフィス (TEL 072-684-4000)

主催：関西大学 社会安全学部

後援：日本災害情報学会・日本リスク研究学会・日本災害復興学会・
地域安全学会・(特活)レスキューストックヤード・日本リスクマネジメント学会